

農問研ニュース 第14号

2014年7月

◆本号の内容

1. 新代表幹事ご挨拶
 2. 名誉会員の決定について
 3. 2013年度学会賞が決定しました
 4. 若手研究者研究助成事業対象者が決定しました
 5. 著作権譲渡手続きの完了について
 6. 2014年度春季大会が開催されました
 7. 2014年度秋季大会の開催日について
 8. 2013年度常幹体制が決定しました
 9. 2013年度総会議事要旨
 10. 学会誌刊行の遅れについて
-

1. 新代表幹事からのご挨拶

代表幹事あいさつ

荒井先生の後任の代表幹事を担当させていただいている愛媛大学の香月です。どうぞよろしくお祈いします。

本学会では、農業生産構造に関わる研究領域を中心とし、関連する種々の領域も広く包摂しながら、農業問題の全体構造の科学的な解明に取り組んできています。

本学会の設立の経過を改めて紹介すれば、以下のようになります。1956年に農業経済学会「若手懇」に集まった研究者を中心に「土地問題」をテーマとした研究会を開催。翌1957年に名称を農業問題研究会とし、以降、定期的に研究大会を開催してきました。1999年には文部省学術登録団体として認可され、2000年には名称を「農業問題研究学会」に改め、今日に至っています。2008年には、50年記念出版「現代の農業問題」を公刊しています。このように、本学会は、前身の農業問題研究会を含め50年以上にわたり、社会科学としての農業問題の理論的及び実証的な研究を積み重ねてきています。

さて、今や農業をめぐる状況は大きな変革期を迎えています。農業は産業としては、極めてマイナーな存在となり、農村部においても農業者は少数派になっています。生産者の減少と高齢化が並進し、耕作放棄地の増大といった農業後退的な局面が顕著となってきています。しかしながら、一方では、従来にはなかった大規模な経営が出現し、集団的な営農を目指す集落営農組織が簇生し、6次産業化への取組が開始されるなど新たな動きがみられます。くわえて、TPP交渉に代表される経済のグローバル化の動きとも並行して、政

府では食料・農業・農村基本計画の見直しが着手され、人・農地プランの作成、農地中間管理機構の設立、日本型直接支払制度の創設等、農業をめぐる政策枠組みの変更が検討される状況となっています。

こうした状況の下、食料生産と地域資源保全という役割を果たしてきた農業を今後どのように位置づけていくのかといった大きな国民的課題が提示されていると考えます。このため、本学会は、これまでの伝統を踏まえつつ、広く食料・農業・農村・環境問題の領域をカバーした研究を相互研鑽によって進め、農業問題研究の一層の深化を図っていく必要があるといえます。従前にも増して、会員各位の本学会への積極的な参加・参画をよろしく願う次第です。

2014年7月10日

香月 敏孝

2. 名誉会員の決定について

2014年3月28日（金）の農業問題研究学会総会において、幹事会は農業問題研究学会会則に基づき、小池恒男会員と堀口健治会員を名誉会員に推薦しました。総会では、両会員を名誉会員とすることが決定されました。

【2014年度名誉会員】

小池 恒男 会員

堀口 健治 会員

3. 2013年度学会賞が決定しました

学会賞選考委員会における厳正な審査の結果、2014年3月27日（木）の幹事会において次の作品に対し2013年度農業問題研究学会奨励賞が授与されることに決まりました。

大仲克俊著『一般企業の農業参入・農業経営への参画の意義と課題』（日本の農業 246）、農政調査委員会、2013年1月。

なお、農業問題研究学会では2014年度も「農業問題研究学会賞」（学術賞・奨励賞）の推薦を募集します。

2011年度から、学術賞と奨励賞が揃って授与されていません。会員の皆様は学会賞の選考対象を推薦することができます。多くのご推薦をお待ちしております。募集要項につきましては、追ってお知らせいたします。

4. 若手研究者研究助成事業対象者が決定しました

2013 年度総会において創設された「若手研究者研究助成事業」の 2014 年度対象者として、幹事会において、常任幹事会は「若手研究者研究助成事業規程」に基づき、竹島久美子会員と曲木若葉会員を対象者として推薦しました。幹事会では、両名を対象者とする事が決定されました。

【2014 年度対象者】

竹島 久美子 会員

曲木 若葉 会員

当事業の助成期間は 1 年です。事業の成果としては、学会報告、もしくは『農業問題研究』への投稿が予定されています。2015 年度事業についても間もなく募集を開始する予定ですので、若手会員の皆さんの積極的な応募をお待ちしております。なお、本事業の財源の一部には、名誉会員の方々から頂いた会費の前払い分が充当されています。

5. 著作権譲渡手続きの完了について

2013 年度総会において制定された「著作権規程」に基づき、『農業問題研究』等の著作権の譲渡について、異議申し立てを受け付けておりました。異議申立期間が 2014 年 3 月 31 日（月）で終了したため、手続きが完了したことを報告申し上げます。

【日時】 2014 年 3 月 28 日（金） 9：30～17：40

【場所】 神戸大学農学部

【大会テーマ】 地域農業の発展と「環境保全型農業」

【座長】 池上 甲一（近畿大学）

【報告】 第 1 報告 佐渡における環境保全型農業の到達点と課題

桑原 孝史（日本獣医生命科学大学）

第 2 報告 関西における環境保全型農業の取組と地域農業

中塚 華奈

（特定非営利活動法人食と農の研究所／大阪商業大学）

第 3 報告 EU における環境保全型農業の取組と地域農業

石井 圭一（東北大学）

第 4 報告 日本型直接支払の系譜と今後の制度設計

飯國 芳明（高知大学）

【コメンテーター】 第 1 コメンテーター 小田切 徳美（明治大学）

第 2 コメンテーター 西村 いつき

（兵庫県農林水産局農業改良課）

第 3 コメンテーター 橋本 慎司（農業者）

6. 2014年度春季大会が開催されました

2014年3月28日（金）に、神戸大学において2014年度春季大会が開催されました。環境保全型農業をテーマに、62人が参加する盛会となりました。内容は全ページの囲み記事の通りです。

7. 2014年度秋季大会の開催日について

2014年度秋季大会の開催日が決まりましたので、お知らせいたします。秋季大会では午前の部において個別報告を実施いたします。会員の皆様の積極的なご応募をお待ちしております。なお、秋季大会の詳細な内容につきましては別にお知らせいたします。

【日時】 2014年11月16日（日）

【会場】 明治大学・駿河台キャンパス

8. 2014年度常任幹事会の体制について

本年5月10日（土）に開催された第1回常任幹事会において、2014年度の体制が下記のように決まりました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

代表幹事	香月 敏孝（愛媛大学）
編集委員会担当（編集委員長）	北原 克宜（立正大学）
学会賞担当（学会賞選考委員長）	友田 滋夫（農村開発企画委員会）
大会企画担当	橋詰 登（農林水産政策研究所）
大会事務担当	佐藤 奨平（農政調査委員会）
事務局担当	大仲 克俊（JC 総研）
庶務担当	西川 邦夫（茨城大学）

9. 2014年度総会議事要旨

2014年3月28日（金）に、神戸大学において2014年度通常総会が開催されました。主要な議事の内容は以下の通りです。

（1）報告事項

- ・2013年度の大会開催状況、幹事会開催状況、常任幹事会開催状況等について報告があった。
- ・編集委員会の開催状況、会誌発行状況（1号発行）について報告があった。
- ・会員数とその増減について報告があった。

2013年度期首：238人 → 13年度期末：243人（入会者：5人、退会者：0人）

2014年度期首：237人（年度末退会者：2人、会員資格喪失者4人）

- ・会費納入状況について報告があった。

2013 年度会費納入対象者 238 人のうち、164 人が会費を納入済（70.1%）

長期滞納者は、5 年分未納者 9 人、4 年分未納者 9 人、3 年分未納者 3 人

(2) 承認事項

- ・2013 年度決算案について承認された。
- ・2014 年度名誉会員が決定された。
- ・2014 年度新体制（幹事会・編集委員会・会計監査）について承認された。

◆新幹事（24 名）

【北海道】 井上誠司（酪農学園大学） 杉戸克裕（北海道農業研究センター）

【東北】 横山英信（岩手大学） 冬木勝仁（東北大学）

佐藤加寿子（秋田県立大学）

【関東】 小林茂典（農林水産政策研究所） 北原克宜（立正大学）

橋詰登（農林水産政策研究所） 佐藤奨平（農政調査委員会）

山崎亮一（東京農工大学） 澤田守（農業・食品産業技術総合研究機構）

神代英昭（宇都宮大学） 平林光幸（農林水産政策研究所）

大仲克俊（JC 総研） 友田滋夫（農村開発企画委員会）

西川邦夫（茨城大学）

【北陸・中部】 加藤辰夫（福井県立大学） 荒井聡（岐阜大学）

【近畿】 久野秀二（京都大学） 大西敏夫（和歌山大学）

【中国・四国】 香月敏孝（愛媛大学） 池本良教（広島国際学院大学）

【九州・沖縄】 山浦陽一（大分大学） 渡辺克司（鹿児島国際大学）

→ 幹事承認後に第 1 回幹事会を開催し、互選により香月敏孝氏（愛媛大学）を代表幹事として選出した。

◆編集委員会関係

- ・新編集委員長（任期：2014 年度）

北原克宜（立正大学）

- ・新編集委員（任期：2013～15 年度）

桑原孝史（日本獣医生命科学大学） 秋山満（宇都宮大学）

◆会計監査 西山未真（千葉大学） 小柴有理江（農林水産政策研究所）

(3) 討議事項

- ・2014 年度の事業計画が承認された。
- ・2014 年度予算案が承認された。

(4) その他

- ・学会賞が授与された。
- ・若手研究者研究助成事業の対象者が紹介された。

10. 学会誌刊行の遅れについて

投稿規程・執筆要領の変更と重なったこともあり、刊行が遅れておりました『農業問題研究』第45巻第2号（通巻第73号）がようやく刊行にこぎ着けました。刊行が遅れましたことをお詫び申し上げます。以降につきましては、定期刊行に努めたいと思います。

【連絡先】 農業問題研究学会事務局

TEL : 03-5213-4330 FAX : 03-5213-4331

((一財) 農政調査委員会内 担当 : 佐藤・秋山)

E-mail : jimukyoku@noumonken.sakura.ne.jp